

## 第 3 回 草津市緑の基本計画策定委員会

日時：平成 29 年 12 月 22 日（金）10 時～12 時

場所：草津市役所 502 会議室

## 1 開会

- ・ 委員数 10 名のうち 10 名の出席により、会議の成立を確認
- ・ 会議の傍聴者はなし
- ・ 副部長あいさつ

## 2 議事録確認

- ・ 異議なく承認された。

## 3 議事

(1) 市民ワークショップ「みんなで“ガーデンカフェ”」の報告について  
——（事務局より資料 2 に基づき説明）——

## ○A 委員

前向きな意見は多く出たが、行政の計画であることに関する懸念も耳にした。数字を追うことに重点が置かれ、実質的な取り組みを進められるのかといった意見も聞いたので、念頭に置くべきである。

## ○B 委員

葉山川の川沿いに花壇やベンチを作るといった活動をしてはどうかという意見を出したところ、葉山川は県の領域であるという意見が出た。縦割り行政の領域の違いが出てくると実感したので、横串を入れるような組織も必要ではないか。

## ○C 委員

花を植えれば賑やかになるということだが、興味のある人が家で採った種を、空いたビニールハウス等を借りて育成して行えるとよい。希望すれば、各自治会に無料で差し上げる形にすれば、花が増えるのではないか。

## ○委員長

今回、そのような意見は出なかったのか。

## ○事務局

今回のワールドカフェでは、具体的な作業の手法といった意見までは求めていなかったもので、出ていないが、貴重なご意見として受け止めている。

○委員長

三島市では、市と業者と市民とで、種から年間20万株程作って、供給されている。

○C委員

みずの森では増えすぎた株を捨てていると聞いた。捨てるぐらいなら、欲しい方に無料で差し上げてはどうか。

○D委員

烏丸半島のみずの森に行くと、自動車道の中側に花壇があり、季節ごとにたくさんの花が植えてあるが、自動車からはあまり見えないし、歩く人も少ないため、もったいない。そういうところで苗を作ることができるのではないか。

また、烏丸半島には車でしか行けないので、駐車場が無料になれば、もっと多くの人にその素晴らしさを見ていただけるのではないか。

○E委員

花を植えることでまちをきれいにしたいという気持ちはあっても、継続が課題である団体がある。そういう団体が知恵を拝借できるようにしてほしい。

ワールドカフェの参加者は活動している方ばかりなのか。

○事務局

参加者全員が活動されているわけではない。

○F委員

参加者アンケートは実施したのか。

○事務局

アンケートは別途に取って、その意見を集約している。

○F委員

「ガーデンシティくさつ」を推進するために、ワークショップを実施したと思うが、参加者24人のうち、ガーデニングの団体に入ってもらえるような方がいれば入ってもらえればよい。

ワークショップでは発言したい人だけが発言するだけのことが多く、それならば一緒に活動してほしいということである。

○G委員

年に2回ほど河川の草刈りを地元で行っている。その河川敷に町内のガーデニング愛好家が花を植えているが、草刈りの時にその花を根こそぎ抜く方がいた。その理由は、個人の趣味の範疇で行うのはよいが、既得権みたいになってしまうということだった。

ガーデニングの促進を目標にすると、強制的な感じが出てしまうので、軋轢が生じないようなやり方が必要である。

○H委員

とくに市街化において、休耕田が出ているが、地域の景観確保に非常に役立つと思う。非常時には防災にもつながり、身近なところでのガーデニングも可能となるので有効活用してはどうか。

○副委員長

何よりも継続が大事である。そして、予算に基づいてではなく、ボランティアで取り組むことも重要である。

(2) 第2次草津市みどりの基本計画（改定版）の素案について

——（事務局より資料3（第1章、第2章、第3章）に基づき説明）——

○F委員

7ページの「市民活動等」について、「潜在的な市民が多くいます」とあるが、「多くいます」と言い切っている根拠を教えてください。もし、根拠となるデータがないのなら、こういう表記にしてよいのか

○事務局

データはなく、ワークショップの中だけの話かもしれないが、そういう方向で集まっていたので、「潜在的な」と記載している。

○F委員

多くいるのなら、我々と一緒に活動をしてほしいということである。高齢化が進んでいる団体は多く、新たな人材を探していかなければならない。ワークショップに参加した24人から1人でも団体に入ってもらいたい。

○事務局

「ガーデンシティくさつ」を進めていく中で、人材を養成していく事業も進めていきたいということで、事業を展開していきたい。表現については検討させていただく。

○B委員

表記そのものはよいのではないかと。

○F委員

変えてほしいのではなく、データを示してほしい。

○B委員

F委員の発言の趣旨は、活動したいと思っている市民が潜在的に多いのならば、その人たちに活動の輪を広げる手法を盛り込んでほしいということである。例えば、行政が旗を振って、PRを行い、潜在的な市民を集めるような努力をしていただきたい。

○委員長

8ページや9ページを見ると、実際に草津市でも多くの団体があり、表彰もされている。そして、前回のワークショップでも関心のある方は多いということは事実なので、もう少し丁寧な表現にして、持続可能な形になるような文章も加えるということを検討していただきたい。

○事務局

事業の説明の中にも盛り込んでいるので、それも踏まえた表現に変更する。

○委員長

実際の現場を知っている皆さんにとって、活動したいという人が目に見えないという状況である。それを掘り起こすことにも重要な意味があるので、今のご意見は反映させていただきたい。

○F委員

「緑化に携わる市民活動団体が増える一方で」についても、どのようなデータがあり、どのような団体があるかを明記した方がよい。表彰されていない団体もある。

どんな団体が草津市にあるかを、計画の冊子にすべて載せるべきである。それを市民が見て、興味が湧き、その団体に問い合わせをするかもしれない。

——（事務局より資料3（第4章、第5章）に基づき説明）——

○F委員

19ページの施策3の「地域花壇等整備促進事業」で、初期整備の支援や花苗の提供は必要だと思うが、継続のために企業から支援していただく仕組みも必要ではないか。

また、「草津市ガーデニングサークル活動補助事業」で、具体的にどのような補助活動を行っていくかを明記したほうがよい。

最後に、「活動団体連携事業」で、実際に活動していく団体を増やしていき、活動団体を紹介して加入を促進することが必要ではないか。「ボランティアの募集などを促進します」では弱いので、活動団体の紹介をメインにしてはどうか。

○事務局

この部分については、制度設計までは至っていない。例えば、「地域花壇等整備促進事業」に関して、企業から支援していただくことは企業と調整した上でなければ、記

載は難しい。

「草津市ガーデニングサークル活動補助事業」については、「施策を構成する事業」に具体的な内容まで書くのではなく、内部の要綱といったものを挙げていくものとしている。

「活動団体連携事業」については、活動団体の紹介も含めて考えている。様々な活動団体のとりまとめ、事務的な支援といった内容であり、その中でボランティアの募集を考えている。

#### ○A委員

先駆的な取り組みを進めるならば、緑と花が広がれば健康になるということで、健康面でリスクのある人や身体の弱い人に働きかけるなど、攻めの内容を入れていただきたい。

#### ○委員長

全体的にバランスはとれているのですが、草津市が全国を代表するガーデンシティになるためには、インパクトのあるものも必要ではないか。「ガーデンシティくさつ」として、ガーデニングの全国大会にアピールできるようなことも検討してはどうか。

#### ○D委員

施策を2年半で具体化するのは難しい。

#### ○事務局

12ページに、「ガーデンシティくさつ」の実現に向けてということで指標を設定している。ガーデニング研修終了者が実質2年半で100人、シンボル花壇ガーデンストリートは駅前と市役所の計4か所、地域花壇は2年半で3か所を目標に進めていきたい。具体的な内容は指標として挙がっているが、少し違う部分の具体性のことか。

#### ○D委員

新しく作るのは大変なので、既にあるもので、ここに書いてある施策を進めていけばよい。

みずの森は、草津市としてあまり利用されていないように思う。当初は小学生や中学生の自然観察の場になっていたらしいが、最近ではほとんど来ていない。バスを使って来るには近すぎるので、バスを使うのならば遠くに行くようになったことが要因として考えられる。もっと利用していただきたい。

草津川跡地公園に広いサイクルロード、ランニングロードができているが、そこをノルディックウォーキングに使うということで、以前広報で案内があったと思うが、日本ノルディック協会の認定コースにしてもらって公認コースと書いていただけると、イベントに使っていただけるのではないかと。

○委員長

日本経済新聞社が毎年「全国サイクリングロード・ランキング」を発表して、大分県の山国川が日本一に選ばれている。社会的に認められるようなコースになれば、それだけで関心が高まる可能性がある。

5. その他

(1) 次回の日程について

- ・ 次回会議を平成30年1月31日午前10時開会で予定する。

6. 閉会

(以上)